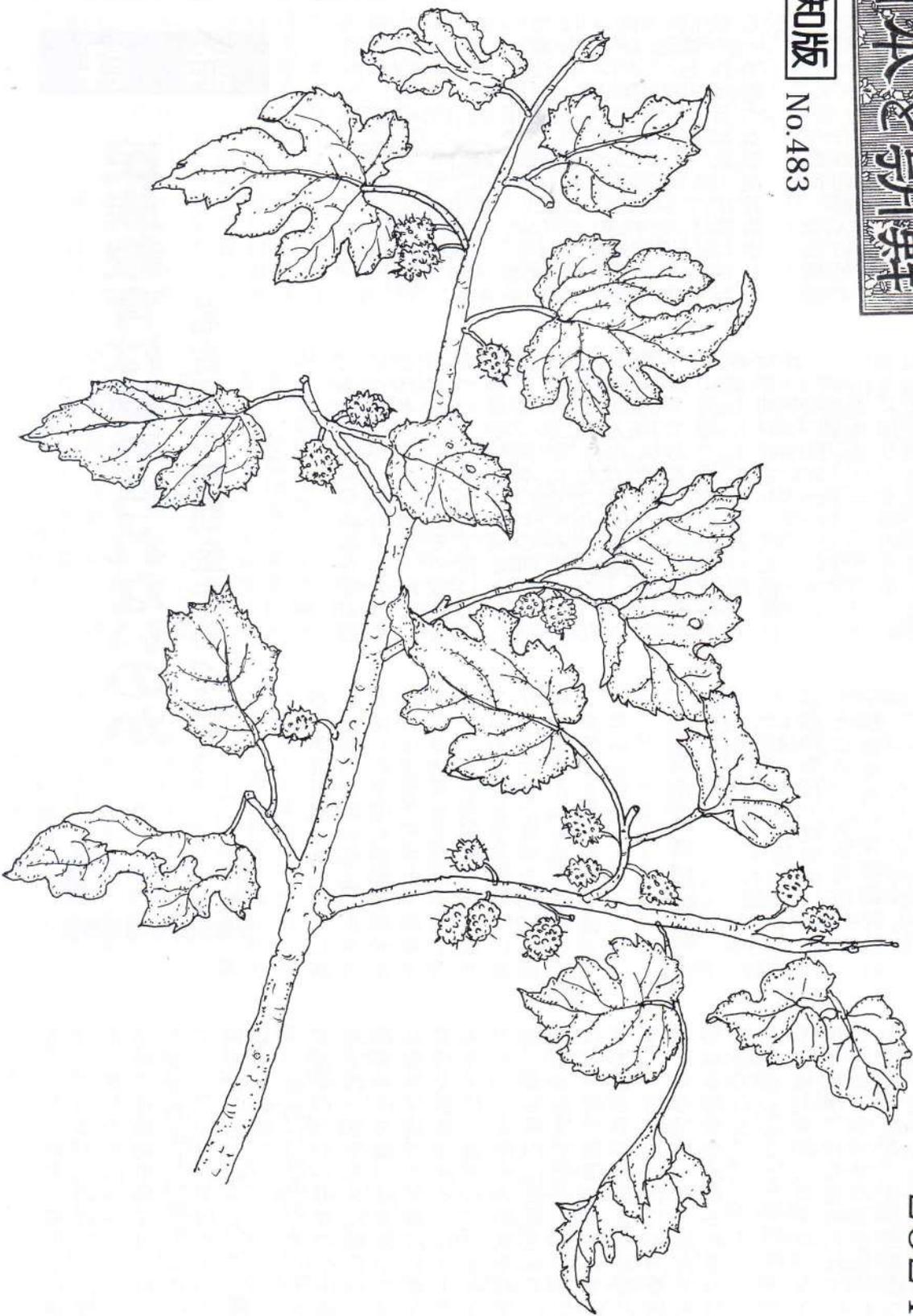


日本と朝鮮

愛知版

No.483

2024.6



\* 合頁の花 ヤマブキ

## 論 評

# 民族教育は認められないのか

### 名古屋市補助金をめぐって

文 光 喜  
愛知朝鮮学園理事長

今年二〇二四年は選挙の年といわれ、既に六カ国（台湾、インドネシア、ロシア、韓国、ペルー、インド）が終わり、あと三カ国（欧州議会、メキシコ、米国）が残った。選挙で政治の変化をもたらす効果は大きいといわれるが、ポピュリズムの波が米国の選挙で再び大きくなる可能性が出ている。日本では自民党最大の危機と叫ばれていても、今解散すれば自民党の圧勝に終わると予想する政治評論家もいる。

特に〇二年以降、拉致問題と絡めて、在日朝鮮人に対するヘイトや嫌がらせが多い。その中でも最たるものは二〇一〇年以降の高校無償化否認

であった。結局政権与党が誰になるかが、朝鮮半島の情勢と日本の政治に翻弄されながら、子どもたちとその家族は傷ついた。外国人学校は良く朝鮮学校だけが否定されたことは、日本による朝鮮への植民地支配に対する過去の清算も否定したことである。在日朝鮮人の人権問題は一般の在留外国人の権利次元とは違わずである。しかし今や拉致の問題で過去の歴史清算を帳消しにして、拉致に関して差別が許され、歴史清算は追いやられている。

昨年四月に施行された「子ども基本法」（二二年六月成立）に則り、全国の自治体が「子どもを権利」を守り「子どもの最善の利益を優先する」条例案を可決した。しかし、東京、大阪が停止されたのは、はじめ全国の朝鮮学校所在地では、教育助成金を削減停止する状況が未だに続いている。この差別問題の根本はどこにあるのかを歴史的に遡り、子どもの権利と民族教育の関係性から今後一〇〇年以上継続できる可能性を探ってみたいと思う。

### 無償化裁判以降助成金の推移

二〇二二年、名古屋市中村区にあった名古屋初級学校が諸般の事情で豊明市に移転したところ、「名古屋市外国人学校設備用品等整備費補助金」二七九万三千円が支給されていたが停止された。今年も一七人が名古屋市から通学しているが「市外」との理由で取りやめになっている。県的には補助単価千円上がったが実質的には昨年と比べて、一五〇万四千円も下がる状況になる予想である。資料1を参照）

一般的に日本の子どもが名古屋市内から市外の小中高等学校へ就学させた場合は、授業料は勿論、給食費や学用品費等学校での学習に必要な費用を援助される。私立小中高等学校へ通学している場合でも、名古屋市の助成金制度は、愛知県内に設置されている私立高等学校の全日制または定時制の過程に在籍している生徒とその保護者を対象として、名古屋市内に住んで豊明市にある学校へ通う場合でも助成金制度が適用されるのが普通である。

教育を受ける権利は子どもの権利条約（日本は一九九四年批准）にも定められている通り、すべての子どもがもつ権利である。日本国憲法には「すべて国民は、その能力に応じて、ひとしく教育を受

ける権利を有する」「経済的又は社会的関係において、差別されない」と定めているように、学費と教育条件の格差は解消されなければならないとしている。

愛知県の私学は二〇二〇年度から、国の就学支援金の増額分を全額活用して、年収七二〇万未満世帯まで授業料と入学金の実質無償化を実現している。

入学納付金補助額と授業料の補助額は資料2を参照する。

対象要件は保護者が生活保護受給者、非課税世帯で、私立の高等学校、中等学校後期過程、専修学校高等過程に進学する生徒一人に年間52,600〜152,000円支給される。この上記三項目が日本の高等学校には適用されるが、朝鮮高級学校には一切適用しないのである。日本の小中学校はほとんど公立であるので、義務教育で無償化であり、名古屋市では三校の私学があるが、補助は支給されていない。

## 民族教育を排除する理由は

民族教育は在日朝鮮同胞の民族の尊厳を保ち民族性を守り発展させる重要な空間である。

朝鮮の海外同胞權益擁護法(二〇二二年制定)には、「海外朝鮮公民に対する民族的差別と迫害、弾圧」を「自主権と民族的尊厳に対する侵害行為」と規定し対応措置を取ることを促し、朝鮮総聯八大綱領にも民族教育を重要な諸権利として謳っている。

朝鮮学校が朝鮮語を授業用語として、在日朝鮮人の子どもたちを教育対象にしているが、「北朝鮮学校」と同一視するのは正しくない。学生の国籍は韓国、朝鮮、日本等様々であり、分断国家を背景に持つ在日コリアンの民族学校である。愛知県には豊明市に愛知朝鮮中高級学校、名古屋朝鮮初級学校、付属幼稚園と春日井市に東春朝鮮初級学校、愛知朝鮮第七初級学校と付属幼稚園であり、学生数は二五七名である。在日朝鮮人の子

どもはほとんどが特別永住資格を持っており、外国人ではあるが生活基盤は日本にあり、永住を前提として生活している。日本学校では学べない母国語である朝鮮語を系統的に学び、歴史や文化、民族のアイデンティティを学び、専門学科も同時に学ぶことで国際化時代を生きる人材として育むことが出来るのである。

ゆえに、朝鮮学校の教科書は、民族性、科学性、現実性の三原則に則り、在日朝鮮人教育者による編纂委員会が一〇年に一度改編し学友書房が出版している。教科書は「北朝鮮政府が作成」しているわけでもなく、在日二世教職員たちが手塩をかけ作成され、過去のイメージから脱皮して、在日朝鮮人の民族自主意識に基づき、先進的科学技术知識を学び、日本や国際社会で活躍できる資質と能力を備えた人材の育成を目指している。特に、歴史に関しては朝鮮の歴史に対する他律論、停滞論ではなく、自律的な発展認識に基づき、「民族統一教科書」を目指して民族的大団結を強め

ていく志向性を求めている。

なお、政治的な利害が複雑に絡み合う論争的な歴史認識に関する論点は、ドイツ・ポーランド・フランスの教科書対話の経験から学び、相互が尊重し信頼し、未来を築いていく方向で記されている。特に日本や日本社会については、二〇〇〇年以上にわたる善隣と友好の歴史を教え、「朝鮮通信使」や「不幸な歴史」(豊臣秀吉の侵略、日本帝国主義の植民地支配、北の拉致問題等)についてもしっかりと教え、朝鮮と日本の友好と親善を深めていける育成に努めているのである[朴:50-56]。したがって、朝鮮学校は在日朝鮮人のニーズを満たすのみならず、日本と朝鮮半島を結びつける架け橋となる人材が育ち、日本との国際交流を深める多民族多文化共生のシンボルとなりうる。「日本を知る外国の子どもたちは、これからの日本にとっての宝である」。

このように朝鮮学校が無償化実施の際、適用対象から除外されたいきさつと適用如何を審査するための検討会議

が二〇一〇年八月に出した報告「高等学校の課程に類する課程を置く外国人学校の指定に関する基準について」では、その制度的、客観的な基準について記している。そこには朝鮮高級学校が「専修学校高等課程」に求められている指定基準「教育課程等」「教員の資格」「施設・設備」「運営及び情報提供」を全て満たし、文科省の学校訪問と調査によって確認されているのである。また、教育内容についても「教育内容が反目的」とか、「不当な支配を受けている」として除外した「差別的な扱い」は「既に指定されている他の外国人学校について、教育内容を基準としていないこと」が明白になっているのである。

## 植民地支配責任から逃れようとする日本

民族教育を排斥し、高校無償化からも除外しようとする根拠には、日本当局の「植民地支配責任の希薄さ」にあると思われる。

二〇〇一年一月、昭和天皇が「私自身としては、桓武天皇の生母が百済の武寧王

の子孫であると、続日本紀に記されていることに、韓国とのゆかりを感じています」と述べ、自身の先祖に朝鮮人がいるとの認識を示した。儒教や仏教など諸文化が日本に伝わったことも「文化や技術が、日本人の熱意と韓国人の人々の友好的態度によって日本に持たされたことは、幸いなことだと思えます」と述べたが、日本と朝鮮が先祖を同じくするという考えは帝国時代の日本の野望とあまりにも強く結びついているので、左翼も右翼も思いたくなくかつたのか、天皇の試みは無視された形になった「ロバート・ST」。

民族教育を排除するのは、日本が明治維新後、皇国臣民思想との関連からヤマト民族に迎合してくれる多文化共生は可能だが、同調しない民族教育は好ましくないのである。敗戦処理において、米国の最終決定は昭和天皇の戦争責任を問わず、「平和天皇」として訴追せず、落飾して裕仁天皇と名を改め天皇制自体の存続を図ることで瑕疵を認めず、天皇制を認知させたの

である。そこから、戦争責任追及の機会がアジア全域から奪われ、戦争責任追及の必要性や加害意識が封印され、関心の希薄さと責任意識の欠落、指導者責任論と「騙された論」の定着がなされ、原爆被害の何十倍、何百倍もの被害をアジア植民地に与えた歴史事実を風化させようとしていることが窺える。植民地時代に起きた加害事実が原爆被害や空襲被害、戦後に起きた拉致被害意識の強調によって少なからず相殺或いは軽減される作用が働いたことも否定できないと思われる。

在日朝鮮人の処遇が植民地時代の朝鮮人と変わらず、日本人と同様に帝国臣民として、納税や徴兵などの義務と責任は強要されながら、権利においては日本人対象の「内地戸籍」と朝鮮人対象の「朝鮮戸籍」によって、巧妙に線引きされ、「制度的差別」がまかり通った時代を彷彿させることになっている「李洙任」。

朝鮮半島分断の起点は、日本の植民地支配にあった。日本は戦後、米国の統治下で天

皇制を存続と解体に伴う植民地支配責任を回避し、分断システムに便乗することで、新アジア秩序形成の拠点とした米国の意図と朝鮮分断システムは表裏一体の関係で機能してきたといえる「Lee, 2009」。

戦後、米国の日本統治のもと、「国体」に代わり安保が日本の憲法体制を凌駕するシステムとして存在し続ける中で、朝鮮半島における戦争状態の固定化は好都合なものとして機能し、朝鮮分断システムの崩壊は、まさに日本の「安保国体」の崩壊を意味した。表向きは朝鮮半島において、南北首脳会談や米朝首脳会談を歓迎する日本政府だが、その深層心理には危機意識があり、その反動として、日本社会に反朝鮮意識、排外ナショナリズム、国家主義的な意識が増幅しているのは明らかである。

このような日本社会で、在日朝鮮人は多様性を認めない日本社会に打ち勝てず、同化傾向は二〇〇三、四年をピークに年々減ってはいるものの、数十万人にいたっているのが現状である。二〇〇一年

以降の帰化申請者、及び許可者の統計があるが、二〇年間では既に十四万人を超えているのはその流れを物語っていると思われる。（資料3を参照）

帰化制度も二〇〇三年から「帰化動機書」の提出が不要になり、手続きが簡略化され、「同化への踏絵的制度化」から「受け入れ窓口」に変化することで、申請者は国籍と民族を切り離し「コリア系日本人」として、朝鮮学校卒業生の中でも増えてきている。民団においては、中央単位まで日本国籍者が就任し、韓国系銀行は日本人が多く就業してその割合は逆転しているところが多いという。朝鮮総聯系の同胞の中でも韓国パスポートを取得し海外旅行を楽しむ人達も増えてきている。

文化や言語の継承という、日本国の中の在日コリアンミニティは多様性の重要性が色濃く反映され、新しい形の中で民族教育のあり方も求められていくと思われる。しかし、民族のアイデンティティを守らない限り、真の友好親善はあり得ないであろう。

### おわりに

お金は人を不幸にも幸せにもさせる魔力があるという。私達は九年前、有志と共に少しでも節税が出来てお金のある人がお金を出し合い、授業料を出せない貧困者を助け朝鮮学校運営に少しでも役に立てたいとの思いから一般財団法人「アイ教育財団」を設立した。

財団評議員のHNさんが愛知朝鮮中高級学校の建設募金運動に去年七千萬元を寄付して下さった。六〇年間、丁稚奉公から鉄工業を営みコツコツ貯めたお金を子どもたちのために寄付して下さる気持ちにはどれほど有難いものか計り知れない。ある老人会の席上で紹介したら、Kさんが「HN君は沢山金があるね」と皮肉を言われ、即HNさんは「貴方よりないけど気持ちで出しました」というと、Kさんは蒼白になったことがあった。

朝鮮学園の収支書によると、二〇二三年度寄付金収入は、納付金は三四%で寄付金

が四四%、補助金八%、雑収入が一四%で、四四%寄付の中身の九六%は同胞たちの血と汗の結晶である。在日朝鮮人は政治に意見があっても反映できる場がない。拉致の発覚から二二年の歳月が流れ、無償化裁判の敗訴から二二年が過ぎ去った。私達には納税の義務はあるが、権利は補償されない。拉致対策費には年一二億円を二二年間使っているが、朝鮮高校無償化の年間支出予定費用はたかが三億円程度だが否定され、補助金が減額されている。いくら出生主義ではないとしても四世五世の子供たちが住みやすい日本になってほしいとの願いから、今回父母たちは「署名運動」を行うことに決めた。今年秋ごろには市長に届けるつもりで運動を進めている。この拙文を読んでくださった方々にも署名をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

（二〇二四年六月九日）

### 【注】

- <sup>i</sup> 朴三石『知っていますか、朝鮮学校』岩波ブックレット2012年
- <sup>ii</sup> 『朝日新聞』2005年8月20日付社説
- <sup>iii</sup> ロバート・S・ポイントン『「招待所」という名の収容所』柏書房2017年
- <sup>iv</sup> 李洙任『奪われた在日コリアンの日本国籍-日本の移民政策を考える』明石書店2021年
- <sup>v</sup> 藤原厚『遅すぎた聖断（昭和天皇の戦争指導と戦争責任）』昭和出版1991年、229頁。『日本はなぜ戦争をやめられなかったのか（中心軸なき国家の矛盾）』社会評論社2013年
- <sup>vi</sup> 2023年度愛知朝鮮学園収支書、納付金58,019千円、寄付金133,647千円、補助金14,731千円、雑収入26,130千円=合計232,527千円。

資料1 朝鮮学校に対する愛知県及び各市の補助金推移（単位:千円以下四捨五入）（下記の推移を参照）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
愛知県	17,752	16,763	16,300	15,670	14,598	15,103	12,574	11,070
一人当	38	39	40	41	42	43	44	予想45
名古屋市	6,356	5,363	4,538	3,870	2,793	0	0	?
春日井市	1,188	1,153	1,047	996	978	1,065	1,030	1,030
瀬戸市	700	700	700	700	700	700	700	700
豊橋市	509	506	504	504	503	0	0	0
豊田市	36	12	12	12	12	12	12	12
小牧市	25	25	13	13	13	13	0	0
清須・愛西市	110	90	80	80	60	70	50	50
合計	26,675	24,611	23,193	21,823	19,655	16,962	14,366	12,862

資料2 【1、入学納付金補助額】は以下の通りである〔私学あいち:2023.7.3〕。

所得基準	高等学校（全日制）	高等学校（通信制）	専修学校高等課程
課税標準額×0.06－市民税調整控 除額が212,700未満の世帯	200,000円	30,000円	130,000円
課税標準額×0.06－市民税調整控 除額が270,300未満の世帯	100,000円	15,000円	65,000円

【2、授業料の補助額】〈授業料428,400円〉〈授業料一単位9,240円〉〈授業料403,200円〉

所得基準	高等学校（全日制）	高等学校（通信制）	専修学校高等課程
課税標準額×0.06－市民税調整控 除額が212,700未満の世帯	428,400円	9,240円	403,200円
課税標準額×0.06 市民税調整控 除額が270,300未満の世帯	214,800円	9,240円	201,600円

資料3 在日朝鮮人の帰化申請者数、帰化許可者数等推移（単位:人）〔李:20〕

年	帰化申請者	許可合計数	韓国・朝鮮	中国	その他	不許可者数
2001	13,442	15,291	10,295	4,377	619	130
2003	15,666	17,633	11,778	4,722	1,133	150
2005	14,666	15,251	9,689	4,427	1,135	166
2007	16,107	14,680	8,546	4,740	1,394	260
2009	14,878	14,785	7,637	5,392	1,756	201
2011	11,008	10,359	5,656	3,259	1,444	279
2013	10,119	8,646	4,331	2,845	1,470	332
2015	11,337	9,277	4,744	3,060	1,473	509
2017	11,063	10,315	5,631	3,025	1,692	670
2019	10,457	8,453	4,360	2,374	1,719	596
2021	9,562	8,167	3,564	2,526	2,077	863
2023	9,836	8,800	2,807	2,651	3,342	813
累計	283,941	601,345	149,263	82,715	35,429	9,860

出典:法務省HP公開統計（閲覧日2024年6月8日）申請者数と許可者数一致しないのは持ち越しあり。

## 朝鮮の雑器茶碗が日本の国宝に！ 雑器茶碗はやっぱり雑器

山崎 眞臣

六月初旬、三泊四日の予定で韓国を訪れました。今回の目的は、妻の父親の墓参と博物館での井戸茶碗や熊川・呉器・魚々屋などと呼ばれている雑器茶碗が、どの様に展示されているのか、ワクワク・ドキドキ、不安と期待の入り交じった心境での見学を予定していました。

ソウル市龍山区にある、韓国最大の国立中央博物館へ入ったのは、軍人の遺骨が葬られている国立墓地（ソウル市銅雀区）での墓参をすませてからのことでした。

中央博物館では、常時二万点余りの展示品がなされているとの事で、私はまず初めに

三階の工芸の部に向かい、陶磁資料室に入りました。

その部屋での圧巻は、やはり高麗時代の陶磁器でした。部屋一杯に並べられた青磁・白磁・三島・染付など、どれもが見事な物ばかりでした。とくに目をひいたのは、白磁の壺が、同じ形の物ばかりが十数個、纏めて転じされていることで、「こんなに多く、しかも同じ壺を並べなくてもいいのには？」そんな疑問を持つての拝観でした（色彩などの違いを見てもらう為の企画か？）。

高麗陶磁に関しては、白磁の壺を褒め称える人が多いように、一奇跡的な白、作つた

という感じから離れた色と硬度と形。生み出した文化や土壌を感じさせる」とか、「どの方向から光線を当てても、同じ明るさに透き通った白に戦慄かが走るほどひきつけられ、魅力を感じた」・・・そんな賛嘆の声も、耳にしています。

高麗時代の次は、いよいよ李朝、私の目指す展示室です。

まず、前時代から受け継いだ青磁・白磁・三島などの作品、三島では皿が、青磁では花瓶や食器、白磁では壺などがたくさん並べられ、展示の方法が前室と少し違っていました。

そして井戸などの茶碗類は、目を皿のようにして探しましたが、一点もありませんでした。なぜ展示されていないのか？

雑器の展示は必要ないのか？ 存在を無視しているのか？ もしかして、展示をして日本人からの評価を気にしての、無視か？ 「触らぬ神に祟り無し」などと、疑問が次々にわいてきました。

日本での李朝期の茶碗は、

「わびさび」の茶の湯に最も適したもので、その主演は茶碗でした。

太閤秀吉が茶会で最も多く使ったのは井戸茶碗であったと記録（茶会記）にのこされています。

茶は、鎌倉時代初期に栄西によって、宋風喫茶文化を持ち帰ったとされ、そのときに持ち帰ったのが「抹茶」でした。以降、お茶と云えば抹茶の事で、今、私たちが飲んでいる茶の葉を湯に注いで香りと味を出す「玉露」などの煎茶は江戸時代中期からのものと云われています。

韓国では煎茶が通常のもので、抹茶文化は伝わっていません。茶の文化が異なり、茶道具も違った物となり、メシ茶碗やマツカリを飲む酒器は、朝鮮では茶器とされませんでした。ですから、日本人が珍重してきた井戸や熊川などの茶碗は、どこまでいっても雑器扱いで、朝鮮では目の見ることが出来ない様で、文化の違いが現状では仕方ない様でした。残念でした。



「ナムウィキ」より引用

## 閉ざされた空間での権力闘争 狂気はジェンダーの異常な偏りから

## 鑑賞のおすすめ



【その 96】

韓国映画『監獄の首領』  
(2016年)

監督：ナ・ヒョン

伊藤 一郎

(koreamovieculture@yahoo.co.jp)

朝鮮文化を知る会

映画「8月のクリスマス」で薄幸の青年を演じたハン・ソッキュは、今回は狂気のアウトローの首領を演じ切っている。元刑事のユゴンを演じるキム・レウオンは、日本にも公式のファンクラブのある韓流スターで、日本にもファンが多い。

映画のポスターの中央には「監獄で世の中を手玉にとる奴ら」と書かれている。ポスターの中心には、首領を演じるイクホがふてぶてしい表情で君臨しており、その側には、首領に寄り添う服役囚だけでなく刑務所の所長の姿も確認できる。本作品の副題は「完全犯罪地域」である。作品のあらすじは、以下のとおり。

ソウルのある刑務所では、夜になると収容されている囚人たちが外出しては、完全犯罪を日々繰り返す。完全犯罪を可能にする拠点としての刑務所内で、首領として君臨する囚人のチョン・イクホ（ハン・ソッキュ）。イクホは絶対的な権力を刑務所内を持つ

ており、囚人だけでなく看守からも恐れられている。監獄を牛耳っているのは、所長ではなく囚人であった。イクホは刑務所内だけでなく韓国の犯罪組織の首領でもあった。刑務所内にながらにして、夜に屋外に車で外出して、ぶりの刺身と焼酎を楽しむことも可能である。

ある日、検挙率100%を誇る元刑事ソン・ユゴン（キム・レウオン）が収監された。ユゴンは刑務所内で様々なトラブルに巻き込まれるが、イクホに助けられる。ある日刑務所内での検閲があり、窮地に立たされたイクホをユゴンが助ける。

その後、ユゴンはイクホの信頼を得ながら犯罪に徐々に手を貸していく。その後も刑務所には、刑務所内の上下関係を変えようとするもの、下剋上を試みるものがいたが、すべてイクホによって制圧される。その度に刑務所内のすべての人々が、そこでのカー

ストのトップに君臨するのは誰なのかを思い知らされる。彼らにとって刑務所は、特別の場所ではなく外の世界と同じ時間が流れる場所に過ぎなかった。

本作品は、監獄の中にいる受刑者たちが監獄を抜け出し、刑務所の受刑者というアライバイがあつて逮捕する事ができないという荒唐無稽のストーリーで始まる。現実離れた空間であるが、閉ざされた空間での人間関係の力関係の動き、権力闘争を描いている。イクホは裏切り者や自分を攻撃しようとした者には容赦ない。自分に反目する者を、看守の協力のもとに消し去る。イクホは何度か窮地に立たされるが、その都度周りの人に助けられる。突き詰めれば、イクホの人を惹きつける人徳と生来の凶暴性が彼を救ってきたと思われる。正気の状態から一気に狂気の悪魔に変身するアウトローに、イク

ホを演じるハン・ソッキュは完全になりきっている。

元一匹狼の刑事であつたユゴンが、集団生活のなかで、やむなくイクホに取り入っていく過程、そしてその人物像の描写の仕方興味深い。逃れられない閉ざされた環境のなかでの男たちの暴力と心理戦は鬼気迫るものがある。

ところで、映画を見ていて絶えず違和感を覚えた。それが何かを突き詰めて考えたところ、本作品には女性がほとんど出演しなかったからである。普段私たちが生活する上で、買い物に行く際も、乗り物に乗る上でも、男性だけの

空間というはほとんどあり得ない。そのようなジェンダーの異常な偏りによって生じる狂気も本作品を構成する一つの重要な要素と思われる。

本作品は非現実的なストーリーで始まるが、時間が経つにつれてそれが現実になんとは言い切れないという不思議な感覚に囚われた。

本作品の舞台は韓国であるが、海外を旅行していると、賄賂や不正が当たり前の国がある。その国では多くのタクシー運転手は正規の運転免許証を所持としないし、空港では「きようは私の誕生日だから」とスムーズな入国審査をほのめかしながら堂々と賄

賂を要求する公務員がいる。心付けを渡さないとまともに書類すら書こうとしない警察官がほとんどの国や、年越しの夜に、酒に酔った警察官が銃を空に向けて乱射する国もある。私たちの感じる常識が、常識として通常しない状況は現実としてあるのである。そして映画の後半では大ドんでん返しが訪れる。

しかし韓流映画では標準で手慣れたものかもしれない。二〇〇〇年ごろより、特に韓国映画の質には目を見張るものがあったが、今回もその期待を裏切らないものであった。果たして最後の勝者は、だれであろうか？

ごあんない

# 星をかかめる風

青年劇場公演

名演2024年7月例会 7月16日(水)18時30分 17H0913時30分  
Niterra 日本特殊陶業市民会館ビルホール(名古屋市民会館中ホールJR・名鉄・地下鉄「金山」下車)

お問い合わせ 一般社団法人 名古屋演劇鑑賞会 ☎052(2228)1010  
http://www.meienweb.com/ e-mail:info@meienweb.com  
会費(月額)2800円 入会金3100円 29歳以下会費(月額)2000円 入会金2300円  
高校生以下会費(月額)1300円 入会金1600円  
入会時に必要な金額 5900円 29歳以下4300円 高校生以下2900円



## 郷土の交流史

洒落た国際感覚の絵筆  
「唐人・唐子」の表現は如何?

『朝鮮通信使、尾張路の旅』補遺／猿猴庵と朝鮮通信使(七-4)

堀崎 嘉明

たい。

お鍛祭の「唐人」たち

来名の朝鮮使節を九歳時に見物した高力種信(1568-1632)、尾張藩士のかたわら絵筆を振るい一〇三種もの作品を残した。その年譜は山本祐子氏による「高力猿猴庵著作年譜」(名古屋博物館研究紀要24、2000)があり、「大きな祭りや評判の見世物など実録物を最も得意とした」と作風の特徴も述べられている。

ちなみに作品は22歳から確認されており、翌年には「猿猴庵随観図会」がみえる。尾張地方の祭りなどの記録で、先号紹介の大須への朝鮮・琉球両使節を模した行列も描かれている。これまで朝鮮通信使が東照宮祭や馬の塔などに与えた影響を見たが、さらに尾張地域の祭りにも探つてみ

たい。伊勢神宮の御山に鍛形の神杖が生えると豊年の予兆として行われたお鍛祭、尾張では元禄・明和年と約60年毎に流布していた。文政十年(1827)は次周期に当たり、秋に尾張西部で始まったお鍛祭りは名古屋城下に近い東枇杷島・日置・押切・古渡さらに前津小林村へ広がりをみせた。何よりも祭り好きな猿猴庵は九月末から十月初めにこれら現地へ足繁く通い、その諸相を見事に描いている(『御鍛祭真景図略一〜三』名古屋博物館)。

今回はその「唐子」場面(大津町下)「前津小林村」は図2と同様画、(省略)を取り上げ、考察したい。

図1は「古渡村」(名古屋市中区)が催す「鍛神の渡御」場面。すでに行われた東枇杷島・日置・押切では神輿が先行であるものの、順序は逆で「稚児行列」のねりものが先供となっている。注目したいのは稚児4人の装束で、「唐子の姿、さらさら染め」と記述がある。

次の図2は「観福寺裏」(日置村、同中区)の作り物、「虎狩」。獅子舞のような虎に続き「唐人姿」の人びとが太鼓かなだらいななどを打ち鳴らし進む場面で、

虎狩に唐人あまた どやどやと何かちんぷん くはんぷくじうら  
と歌い、「ちんぷんかんぷん」と村名の「観福寺」をかけ、駄洒落ている。

そして図3は西二町(押切村、同西区)の「鯛の作物唐子おどり」。行列を見物する人たちの前を多くの唐子装束の子供らが「大鯛車」を引き、うちわ太鼓で踊っての行進。

最後の図4は飴屋町(前津小林村、同中区)の「福祿寿

人形」行列を描いている。行列を見物した猿猴庵は、幣帛に剣祓、両方の箕と升、造り花で飾る福祿寿車を多くの若もの、子供、少女、芸子らが楽器を鳴らし賑やかに引く様子を描いている。また上部の詞書には、それぞれが「唐人衣装」に身を包み、

三味せんのこま もろこしの小むすめを 見よとてちりや珍なねりもの  
などと洒落気を楽しむ歌などを添え、「女唐子、他に見なれず、いと艶なり」の筆を運んでいる。

以上が『御鍛祭真景図略』に見える「唐子画」と詞書である。

村びと、異国文化を楽しむ  
猿猴庵は茶屋町警固行列(東照宮祭)への朝鮮通信使の影響を明確に指摘したが、お鍛祭りに登場の「唐子」には何も触れていない。文政十年は最後の朝鮮使節来名から63年後となり、当地で見物する機会は生まれてはいない。しかし名古屋城下や尾張各地の祭りに異国情緒を醸す唐子

図 3



図 2



図 1

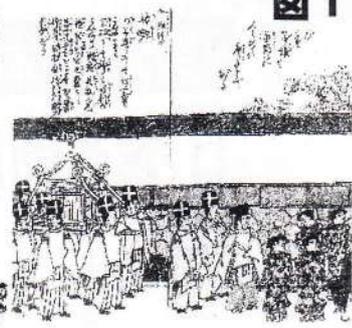


図 4



車などはこの間も多く造られており、お鍛祭りを催す村びとの耳目を集めていたことは容易に想像できる。60年待ちに待った、生涯に一度の祭りに豊作を願い、趣向を凝らした仮装行列や作り物の制作に数年前から準備に熱を上げた。その完成させた「作り物」「踊り」「仮装の衣装」が前に上げた場面である。もとより創作では作者の体験、情報、知識などがヒントになる。特に唐子が纏う「さらさら染め」の衣装は、鮮やかな色彩と異国的デザインが特徴のために敢えて用いたと考えられ、歌(図4)の「三味線の駒を高麗にかけ」(同書三註)も洒落た国際感覚を披露するもので、村びとの脳裏に浮かぶ国際認識から生まれたものといえる。

なお『御鍛祭真景図略』の註では、「唐子」は、中国風の衣装や髪形の子供」としてあるが、近世に十回もの朝鮮通信使の来訪を受けた尾張人にとって、「唐人風」を「朝鮮風」とする認識の方が妥当と思われる。

## 問われる日本の自主性

## 日本と朝鮮の国交正常化はどうか？

〈2〉

金宗鎮

## 三 日朝国交正常化交渉（一九九一〜九二）の経緯

## (1) 交渉の状況・新しい情勢

一九八九年一月 日本政府は「わが国の朝鮮半島政策について」を発表した。

同年三月、竹下首相は衆院予算委員会で、

「朝鮮半島をめぐる新たな情勢に配慮しつつ、・・・関係の改善を進めていきたいと希望する」と演説した。

社会党訪朝団に続いて、金丸訪朝団が平壤に向かった。▽一九九一年という時期の新しい情勢とは、如何なる情勢なのか。

朝鮮の盟友だった、ソ連と東ヨーロッパ社会主義国の崩壊である。

それによって、朝鮮の貿易はゼロになり、企業、工場生産が二割程にダウンした。厳しい食糧難が全土をおおっ

た。

七十年代以来の、軍事制圧プレッシャー、経済制裁のボデイブローに、加えてのノックダウン状況が表出した。

▽★一九六五年の日韓条約締結の場合も★韓国経済は、北からの食糧支援や電力支援を受けざるを得なかった韓国の窮乏があった。

政治的には、これを放置すれば、『行こう北へ、来たれ南へ』の青年、大学生の呼びかけによって、韓国の「★」（赤化）の危機があった。

この状況を見すえて、日本外交は、①植民地支配は合法的であった。②独立のお祝いとして経済援助をする、と主張して、韓国はこれに土下座

した。日本の望外な一方的勝利であった。米国は韓国の軍事政権で以て、「民主化」を封じ込めるべき、『日韓会談』の成功を切に望んだ。

▽朝鮮の状況は、国家存亡のピンチに遭遇した。

ソ連と中国が、米国との間で南北朝鮮の「クロス承認」外交を主張していたのを反古にして、韓国を一方的に承認

する事態に至った。朝鮮の外交的孤立である。

ソ連のシュワルナゼ外相が、ソ連の意を告げるべく、平壤を訪問したとき、朝鮮の首脳は外相を引見せず、ソ連との間に結ばれていた、核に関する約束に拘束されないと、言い放った。（NPT条約に加盟すること）

シュワルナゼ外相は、最大の侮辱を受けた、と述べている。

外交的孤立に加えて、社会主義圏の崩壊が続いた。米朝関係の外交的「力関係」は音を立てて崩れた。

日本外交は、この状況で、国交正常化へ動いたのだ。

## (2) 八回の国交正常化交渉

一九九一年一月三〇日、平壤で交渉が始まった。日本側の主張は、要約すれば、

① 植民地支配は合法であった。「当時の国際社会は、異を唱えなかったし、国際法学会でも認定された」。

② 財産請求権。「物的人的被害の事実関係をうら付ける

客観的な資料を提示しなければならぬ。貯金通帳、年金証書、徴用不払い金の証書などを示せ」。

③日朝間は交戦状態になかったため、財産請求権として議論すべきである。

猛り立つ盗人の強弁に、朝鮮側は、「解放から五〇年近くたっているのに、日本から返してもらえらると思つて、証書類を持つている人がいるか。」と呆れる。

朝鮮側は、賠償を求めた。戦後四五年についても、南北分断、朝鮮戦争などへの責任から、日本は補償すべきである、と論じる。そして双方の隔たりの大きさを痛感して、まず国交を樹立し、補償問題を含めた他の問題は、その上で討議したらどうかと提案した。

国交正常化交渉が決裂したのは、日本側から、国交正常化とは本来関係のない、核問題（核査察の受け入れ）、南北対話の進展、「李恩恵問題の調査」の受け入れ等に、朝鮮側が反発したことから、約

一年、八回の会談で決裂した。逆境の朝鮮に向かつて、国交正常化の場で、米国と韓国の対朝鮮外交を代行する日本外交には、『正常化』を買いたくチャンスと思えたのであろう。かくして、日本は、植民地支配の清算をしない、国際社会の記録を更新しつづける。

#### 四 国交正常化における日本のスタンス

日朝国交正常化は、一つに日本の「植民地支配は合法であった」の立場と、二つには米国のコントロールの下にある、との二点で困難を極める。米国のコントロールとは、交渉の場で日本に、朝鮮の非核化を取り上げを求めたことである。

▽ この二重のロックは、解くに解けない難事である。だが、前者の不条理なカギも、事と次第によつては、朝鮮側にメリットある大きな条件がついて来るならば、手の打ち

ようがある。

核問題は、日朝間ではどうにもならない案件なので、論議のしようが無い。本質的には朝鮮と米国の関係であり、日本はそれを肩代わり出来ない。日朝間では合意に至る、日本側の資格も手段も無い事案である。朝鮮の「非核化」は唯一、米国の戦略的決断によつてのみ、解決が見られる事案である。

まとめよう。

日本側には、植民地支配は、①「朝鮮の非文明」「野蛮な歴史に対する、文明の開化への導きである」との歴史認識②「合法的」な植民地支配は、これまた有益であったとの宗主国の歴史認識から、そもそも日本側からすれば、悪事を働いたわけでもない。

そして、日米安保の要請による「北の脅威」の除去である「非核化」要求は、国際秩序の要請である。よつて、日本側には、日朝国交正常化は自国の責務とか義務とかという立場では無かった。

▽ 今少し米の介入を見る。

『一九九一年三月、ペリー国務長官は、訪米した中山太郎外相に、核査察問題を日朝交渉で取り上げるように求めた』（『日朝交渉三十年史』和田春樹・ちくま書房）。さらに『五月二十日～二二日に北京で行われた第三回会談の冒頭から、日本側は北朝鮮に、IAEAの査察の受け入れが国交回復の前提条件だとして求め・・・』（同上）。

日本の植民地支配の反省が無い外交に、その前提条件を新たに付け加え突きつけることで、日朝の交渉を打ち砕いた。

▽ さきごろ、岸田首相のピョンヤン訪問が取りざたされている。岸田首相には、交渉のテーブルにのせる新味ある案件の準備があるのであろうか。韓国と米国の外交ルートを通じた朝鮮側による提案をするのであろうか。マスコミの報道からは、「日本側に独自性がない」とのピョンヤン側の発信からすれば、窓が開かれそうには無いようだ。

「国交正常化を望む」日本

国の基本的なスタンスが感じられるならば、あるいはその条件づくりに誠意が伝わるならば、交渉の窓口は開かれるであろう。

筆者は後述するつもりだが、今や核保有国になった朝鮮は、交渉に対してハードルを高めている。よって、①野蛮国を ②文明開化させたが、どこが悪い、③独立したから国交は結ぼう。しかし④日本人を拉致するときは何事か、⑤ましてや核で日本に脅威をもたらすとは許せない。⑥拉致と核が解決すれば国交を結ぼう。との従来の日本外交では「国交正常化」交渉は再開されることはないであろう。

岸田首相の訪米によって、対朝鮮外交政策のすりあわせが行われた様だが、果たして日本国の責務としての、日朝国交正常化への回路を発見することが出来たのであるろうか。

要するに、国際秩序の激動の中で朝鮮の地位の変化を、日本は自己の思考回路に導入するシステムを見つける

ことが出来たのかということだ。今しばらくは、時間を要するように見える。

※ ※ ※

朝・日・米の関係が、正常でない。朝米は今や核戦争の前夜にある。日本は、米国の核戦略に絡めとられている。ウクライナ事態にも朝鮮と日本の対応はまるで正反対だ。

日本は北方領土を取りもどす、ロシアとの交渉の前進を投げ捨てても、米国の要請に従って対ロシア戦争に入り込んだ。朝鮮はロシアの対NATO・米戦争と見て取って、ロシアを支援している。日本と朝鮮の、このウクライナ事態への対応は、実は両国の一貫した国際秩序への対応である。朝鮮は、ベトナム戦争、中近東戦争、イラク戦争、アフガン、ガザ・・・に、常に反米である。日本は、同じ戦争に常に米軍を支援した。ウクライナ支援も同様である。朝鮮は、北ベトナムのホーチミン市の空で多くの米軍パイロットを迎え撃った。ま

た、中近東(第四次)の空では、イスラエル空軍を打ち負かし、エジプトの勝利に貢献した。イラン・イラク戦争でも米国と対抗した。朝鮮の反帝・反米はロシア支援で今なお続く。日本は朝鮮とは逆に、米国の侵略戦争に「反共」「反テロ」「反核」の名分のもとに、従ってきた。ウクライナ事態では、ようやくロシアの「侵略」に対する「名分」を得て、公然と米国側に立つことができた。

本来ならば、日本の国益からすれば、ロシア・ウクライナの軍事事態に調停者として現れるべきであった。「五十年の戦争国家」は敗戦をもって、終えたと思われたが、今なお戦争支援は終えていない姿に「三つ児の魂百まで」を思う。侍ジャパン、ここにありかな。ピョンヤンの外交官の皆さん。「日本研究」を極めるべきでしょう。日本は対米交渉とは「別物」です。

## 事務局から

### 夏季財政活動にご協力を

- 会員会費(半年分)=3,000円  
(会報本部版・愛知版の購読費を含む)
- 購読者『日本と朝鮮(愛知版)』の購読費(半年分)=1,500円
- 資金カンパ大歓迎
- ★振込用紙は一律に送付しました。

### ご投稿のおすすめ!

- ★月刊『日本と朝鮮(愛知版)』は、日・韓・朝の市民が往き来する、紙上交差点をめざします。  
内容は、身近な話題、証言、時評、書評、資料等の紹介、提案・意見など。長短はかまいません。
- ★取材を依頼される場合はその旨お知らせを。
- ★締め切りは、毎月20日ごろ。Eメール歓迎。
- ★送配布先についても、ご紹介下さい。

いま面白い市民運動の情報誌

グループ紙誌  
拝見

●愛労連 (第三七二号〓二〇二四・七 発行〓愛知県労働組合

総連合〓名古屋市熱田区)

○全労働者に物価高上回る賃上げを〓最低賃金は全国一律いまして〓一五〇〇円。めざせ一七〇〇円

○「オピニオン」核のない世界へ〓来年は被爆八〇周年

○対話とリスベクトから共感・連帯・行動へ〓レイバーノーツ大会で学んだ労働組合で団結する素晴らしさと未来の姿

●ポラム

(第一四六号〓二〇二四・六・一五 発行〓岐阜朝鮮初級学校の子どもたちを支援するポラムの会〓岐阜市長良)

ほか

○「教室化から」教員一年目〓尹亨奎

○二〇二四年、この年に願う〓松井和子

○オリーブの会会長、柴橋正道岐阜市長の声明に関する意見表明 (二月一九日)

●窓の会 (第九二号〓二〇二四・六・一七 発行〓豊橋市柱三番町 〓これから出版)

○追悼 田崎先生〓富安廣次

○崙山晩年の自作狂歌・知られざる情念と逆境〓別所興一

○「バアゴラ」の丸山薫〓大伊和雄

●平和新聞・愛知版

(二〇二四・六・一五 編集〓愛知県平和委員会〓名古屋市中東区)

○今年のあいち平和行進はひと味違う〓あいち平和行進六月十一日 岐阜へ引き継がれる

○田原市平和委員会・平和学習会〓「専守防衛」は多くの市民が賛成

○千種・名東平和委員会、名古屋市内の戦跡・史跡めぐり

●愛知宗教者平和の会会報 (第二六四号)〓発行〓同一

○冤罪に関する記事3題

①袴田事件、無罪判決の期待高まる

②飯塚事件の再審、認められず

③NHK「冤罪」の深層」が大賞受賞

○愛知宗教者九条の会が街頭宣伝参加の訴え

●草の根

(第四六二号 二〇二四・六・六 発行〓原水爆禁止愛知県協議会〓名古屋市東区)

○「原爆の火」を先頭にあいち平和行進スタート!

○「被爆者が国に挑む最後のたたかい」〓愛友会

○高校生平和ゼミナールが活動紹介とパネル展示〓高校生署名八八筆集まる!

●革新・愛知の会

ほか

(第三四九六号〓二〇二四・六・十 発行〓同会〓名古屋市熱田区)

○「インタビュー」重原惇子さん〓社会を変えるために声をあげよう、行動し続けよう

〓投票することで未来がひらける

○金権政治と決別を!〓清廉な青磁をめざして!〓政治家の裏金・脱税をなくす愛知の会 発足

○「多数派めざして」谷本麗之〓「自民党嫌だ」青年の力で政治を変える

●なごや市職

(第二四一〇号〓二〇二四年六月一・十一日 発行〓名古屋市中職員労働組合〓名古屋市中区三の丸)

○BBQ & 地引網体験イン 南知多ビーチランド

○憲法守り平和な名古屋を願って〓「なごや平和の日」を平和のために具体的に行動す

ほか

る日に  
○復旧が進んでいない現実にシヨック／能登半島地震ボランティアに参加して／伊藤百合子

ほか



★全国からの通信

日朝協会

【大阪版】二〇二四・六・十

○会員、そして全国のみなさん、万博は中止でしよ！  
○【ひかるチャンの国際連帯術】プサンはバス高速システムが充実  
○【かゑ子さんの映画案内】罪深き少年たち

ほか

【群馬版】二〇二四・六・一

○「追悼碑を守る会」が第二十回追悼集会と総会を行う／群馬の森の跡地でAR（拡張現実）を見る／松本和江  
○県は「守る会」に撤去費用二、〇六二万円を請求  
○原発は文明のお化け／フクシマを忘れない／東京電力・柏崎刈羽原子力発電所／新井忠夫

ほか

【東京中野版】二〇二四・六・一

○アメリカの顔色うかがうばかりの自公政権で「拉致被害者」の帰国を実現できるのだろうか  
▽二〇〇二年小泉政権は秘密裡に事前交渉を朝鮮国と進めていた  
▽家族会の制裁加除にも反対しないと決断した声明に込められるか  
▽交渉の基本は平壤宣言の実行あるのみ、課題の包括的な協議が必要では

【埼玉版】二〇二四・六・一

○高麗神社フィールドワークを開催／深い歴史と朝鮮の人々の想いを学んだ／田畑 茂  
○日隅一雄・情報流通促進賞二〇二四奨励賞に、関原さんの本が選ばれました  
○韓何雲（はんハウン）の詩／松本あや

ほか

【福岡版】二〇二四・六・一

○【こんにちは】次期衆院選女性候補者は一八%止まり  
○【歴史カフエ】日本と朝鮮の近代史・『征韓論』の呪縛一五〇年を解く／植山 渚  
○【韓国のマスコミ】客観的事実よりも金正恩書記の言葉を信じる文在寅・前大統領／五月二十日 朝鮮日報・社説

ほか

兵庫「むくげ通信」

【発行】むくげ社【】二〇二四・五・二六

○【歌・ノレ・189】北朝鮮の第二愛国歌『輝く祖国』(1)／山根俊郎

○【研究ノート】アレンとデシユラと朝鮮人ハワイ移民(中)／堀内 稔  
○韓国・大田(「移住民」国際シンポジウム)に行ってきた／飛田雄一

ほか

兵庫「強制動員真相究明ネットワークニュース」

【発行】同ネットワーク【】二〇二四・六・二〇

○第一六回強制動員真相究明全国研究会開催にあたって  
○みんなの力で坑口を開けよう！／スタート集会を開催します／長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会・山内弘恵  
○群馬の森・朝鮮人追悼碑撤去の現場から日本の歴史認識を再考する／矢野秀喜

ほか

【表紙】三浦雅子